

一 般 質 問

令和8年第3回(6月)三股町議会定例会

1

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	堀内 和義	1 蓼池第3団地解体後の跡地活用について	① 蓼池第3団地周辺は、新興住宅地で住宅建設が進み若い世帯が多く、子供が身近で安心して遊べる場所がない。団地解体後の跡地を児童公園として活用できないか。	町長
			② 南海トラフ巨大地震の発生確率も高まっている。公園化することにより災害時には避難場所にもなると思われるが、如何なものか。	町長
			③ 蓼池は広範囲で世帯戸数も多く、蓼池を2分割にする意見も出ている。特に南原・大原地区は戸数が増えており、将来的には小集会場、ゴミステーション等も必要ではないかと思われるので、町有地として残してほしい。	町長
		2 町内における都城盆地畑地かんがいの事業見直しについて	① 町内における都城盆地畑地かんがいの事業計画面積と現状の事業完了地区、面積はどのようなものか。	町長
			② 事業完了地区における水利用面積、利用率はどのようなものか。	町長
			③ 現状においては水利用率が低く、高齢化による離農も多くなっている。今後、水利用者が増える見込みはあるのか。	町長
3 田上地区の農地について	④ 町内の事業未整備地区と概算事業費はどのようなものか。	町長		
	⑤ 事業完了後は管理、将来的には老朽化等による維持管理費の増加も見込まれる。今後の事業費、水利用率等の費用対効果を考慮すると未整備地区については、事業の見直し・中止をした方が良いのではないか。	町長		
	⑥ 未整備地区にある蓼池・前目地区は工業地域にもなっているが工業用地はほぼ埋まっている。事業を見直し一部を工業用地として転用できないか。	町長		
2	新坂 哲雄	1 轟木集落館の遊具について	① 遊具が老朽化のため撤去と聞くと、今後の考え方は。 ② 児童の親より遊び場がなくならないようにとの要望があるが、遊具の今後の設置予定は。	町長 町長
		2 轟木集落館東側道路について	① 大型車両が多く、片側通行しかできない状況なので、轟木橋と同じ幅に道路拡張は出来ないか。	町長
		3 田上地区の農地について	① 荒廃地が多いが、今後の農政の進め方は。 ② 荒廃地が数年経過しているが、見直し計画はどうなっているのか。	町長 町長
3	岩津 良	1 5歳児健診の導入について	① 全国的に5歳児健診を導入する自治体が増えている中、本町における実施に向けた取り組み状況と見通しを問う。	町長
			② 出生から就学前までの健診体制の中で、5歳児健診をどう位置付けていくのか問う。	町長 教育長
		2 公園遊具の更新における共生(インクルーシブ)視点について	① 公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新にあたり、障がいの有無に関わらず誰もが遊べる「インクルーシブ遊具」の導入を整備方針に組み込む考えはないか問う。	町長
			3 HPVワクチンに関する正しい認知促進について	① HPVワクチンについて、対象者・保護者が正しい認知と知識をもって接種を選択できる情報提供の現状認識と改善方針を問う。
② 県内の一部の市町村では、中学校においてHPVワクチンに関する専門家による説明会が実施されている。本町でも実施を検討すべきと考えるが見解を問う。	町長 教育長			
4 消防費(後援費・協力費)と自治公民館未加入世帯について	① 消防費(後援費・協力費)は各支部・公民館を通じて徴収されているが、自治公民館未加入世帯からは徴収されていない実態がある。加入率の低下に伴い収入が減少していく中で、町としてこの実態を問題として認識しているか、また消防団各部の運営持続性についてどのような方針で対応していく考えか問う。	町長 教育長		

一 般 質 問

令和8年第3回(6月)三股町議会定例会

2

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4	内村 立吉	1 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポについて	① 2027年度に本町で開催される銃剣道競技及び今年9月6日(日)に開催されるリハーサル大会の内容は。	教育長
			② これらの大会の開催に際して、本町の魅力を発信する計画はあるか。	教育長
		2 運動会・体育祭について	① 県内の小・中学校の運動会・体育祭が、暑さ対策の為、5月に開催する学校が増えているが、本町の小・中学校も今後5月に開催する考えはないか。	教育長
		3 ため池、劣化状況調査について	① 堂領池、池ノ谷池の劣化状況調査の結果は。	町長
		4 ため池豪雨耐性評価について	① 防災重点、ため池の豪雨耐性評価補修計画はどのように検討しているのか。(宮田池、前山池、堂領池、池ノ谷池)	町長
			② 今年度の計画は。	町長
		5 農業水路等長寿命化・防災減災事業(長寿命化対策)について	① 水路を更新することにより、道路の冠水及び路肩、洗堀を防止し、ふたをかけることによる転落防止の計画の内容(地区・場所)は。	町長
6 水田作付状況について	① 令和8年度の本町の水田作付面積、作付の内訳は。(主食用米、WCS飼料作物、加工用米、飼料用米、その他)	町長		
	② 水田作付面積、作付の内訳は。(前年度と比較して)	町長		
5	楠原 更三	1 三股の魅力について	① 三股開拓の碑にある「想い」が、三股の魅力の一つであると思うが、町の総合計画の中に生かされているか。	町長 教育長
			② 郷土愛醸成のための教育の充実の一環として、先人の偉業を確認できる環境整備の今後の予定はあるか。	町長 教育長
			③ 梶山城跡の価値を町民に解説する定期的な機会を予定できないか。	町長 教育長
			④ これまでのそれぞれの「みんなで創ろうみまたん地域づくり推進事業」を町全体の活性化に繋げていこうとする町としての動きはあったのか。(含、これまで認定された事業数及び現在も継続している事業名)	町長 教育長
	2 三股町自治公民館加入促進条例について	① この条例制定以外に、自治公民館のあり方の根本的な対策として、どのような取組が行われてきたのか、または検討されてきたのか。	町長 教育長	
		② 条例制定の前と後で、窓口での対応に何か変化があるか。	町長 教育長	
		③ この条例を周知するための方法は。	町長 教育長	
		④ 制定後、行政として行う未加入者への加入の呼びかけの新しい方法の予定はあるか。	町長 教育長	
		⑤ 制定後、事業所への対応にみられるようになった変化は。	町長 教育長	
	3 職員の心得10か条について	① 町民への周知状況	町長	
② 取り扱い状況とその評価		町長		

一 般 質 問

令和8年第3回(6月)三股町議会定例会

3

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6	中原 美穂	1 高齢者福祉の充実と持続可能な支援体制について	① 成年後見制度・権利擁護について 成年後見センター設置後の相談件数や支援実績をどのように分析しているのか。制度を知らない方や相談につながりにくい方への周知・支援を、今後どのように強化していくのか。	町長
			② 地域包括支援センターについて 認知症相談や独居高齢者対応、権利擁護など、困難事例が増える中で、現場負担をどのように認識しているのか。 また、専門職配置や相談支援体制について、その後どのような改善を検討されているのか。	町長
			③ 高齢者本人と家族への支援について 老々介護や共働きで働きながら介護する家族が増加しており、家族支援の重要性が高まっている。現在の支援体制と、家族が抱え込まない仕組みづくりについて、今後どのような支援体制を検討されているのか。	町長
			④ 介護認定について 介護認定については、「実際の生活状況より軽く認定されたと感じる」「家族の介護負担が十分反映されていない」という声も聞かれる。制度として公平公正に運営されていることは理解しているが、日常生活での困りごと・家族介護の負担・認知症による生活上の支障などをどのように把握し、認定や支援につなげているのか。 また、認定結果に不安を感じた場合の説明や相談体制を、どのように構築しているのか。	町長
			⑤ 認知症高齢者の把握状況、支援体制について 近年、認知症高齢者が増加傾向にある。在宅で生活されている方で、屋外を散歩され自宅が分からなくなり探索願等が出されるケースがあると聞いているが、町として相談があった場合の対策等はあるのか。	町長
			⑥ 介護保険財源と持続可能な支援体制について 物価高騰や人材不足などにより、介護事業所の運営環境は厳しさを増している。その影響が利用者サービス低下につながらないよう、町として現状をどのように把握し、今後どのような支援や連携を考えているのか。町独自の特別補助支援金等の検討はされているのか。	町長
	2	夜間における歩行者の安全対策(反射材の普及・活用)について	① 夜間における歩行者事故の現状認識について 近年、高齢者を中心とした夜間の交通事故が全国的に課題となっている。特に、暗い時間帯は歩行者の発見が遅れ、重大事故につながりやすい状況にある。本町における夜間の歩行者事故の発生状況や傾向について、どのように認識しているのか。	町長
			② 反射材の普及・啓発の現状について 夜間事故防止には、反射材の着用が有効であるとされている。本町では現在、反射材の普及や着用促進について、どのような取り組みを行っているのか。	町長
			③ 高齢者・児童生徒等への配布強化について 反射材は「配ること」だけでなく、「実際に身につけてもらうこと」が重要である。高齢者、児童・生徒、通勤・通学者などを対象に、反射材の配布や交通安全啓発をさらに強化する考えはないのか。	町長
			④ 身につけたいくなる工夫について 反射材は効果が高い一方で、「持っただけでも使わない」という課題があるが、デザイン性や日常使いしやすい形状、ランドセル・バッグ・杖・靴などへの装着型、地域ぐるみで着用を促す取り組みなど、実際に身につけてもらうための工夫が必要ではないかと考えられるが町の見解は	町長
			⑤ 警察・地域団体との連携強化について 交通安全は行政だけではなく、警察・学校・地域・事業者との連携が重要である。今後、警察や交通安全協会、自治公民館、PTA等と連携しながら、夜間の安全対策をさらに強化していく考えはないのか。	町長
			⑥ 効果検証と着用率把握について 反射材は「配布して終わり」ではなく、実際の着用率や事故減少との関連を検証することが重要である。本町として、反射材の着用率や事故発生状況との関係について、調査・検証を行う考えはあるのか。	町長

一 般 質 問

令和8年第3回(6月)三股町議会定例会

4

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7	田中 光子	1 投票率向上の対策について	① 近年の町政選挙における投票率の推移をどう分析しているか。特に若年層の動向について町長の見解は。	選挙管理委員長 町長
			② 若者の政治参加を促すため、教育現場での模擬選挙や、SNSを活用した『選挙の見える化』にどう取り組んでいくのか。	選挙管理委員長 町長
			③ 町内の経済活性化も兼ねて、投票済証の提示でサービスが受けられる『センキョ割』を、町内の商店会と連携して実施できないか。	選挙管理委員長 町長
			④ ワークライフバランスの一環として、町内企業に対し、従業員が投票しやすい環境づくり(投票時間の確保など)の啓発や協力要請をどのように進めているか。	選挙管理委員長 町長
			⑤ 投票所の利便性向上のため、移動期日前投票車(投票バス)の導入を検討できないか。 ⑦現役世代が日常的に利用する商業施設等に、数時間単位で滞在する『移動期日前投票所』を設置できないか。 ⑧投票率に課題がある植木・今市地区を『モデル地区』として、試験導入し、その効果を検証してはどうか。	選挙管理委員長 町長
	2 带状疱疹ワクチン接種について	① 带状疱疹ワクチン定期接種の実施状況と打ち漏らし防止について。 ②どれぐらいの人が接種されたのか。 ③いつ通知は発送したのか。 ④再通知はしたのか。 ⑤接種目標はどれぐらいに設定したのか。	町長	
		② 定期接種の対象外となっている50歳以上の世代への町独自助成はできないか。	町長	
	3 自転車の交通反則通告制度(青切符)導入による交通安全教育の推進について	① 近年の自転車事故の発生傾向、特に通学中の児童生徒や高齢者と、青切符導入に向けた現在の周知状況および課題をどのように捉えているか。	町長 教育長	
		② 持続可能な「交通安全教育のネットワーク」を構築すべきと考えるが、町長・教育長の見解は。	町長 教育長	
	8	堀内 義郎	1 選挙について	開票での負担軽減について ① (1)開票において、無効票はどのように判断されているのか。 (2)無効票を減らす取り組みはされているか。
新富町での電子投票に伴う本町としての検証について ② (1)従来の選挙と比較して予算についてはどう思われるか。 (2)投開票に携わる職員数や開票作業にかかる時間についてはどうか。 (3)投開票の負担軽減を図るため導入についての見解はどうか。				選挙管理委員長
2 小学校の教室について		① 三股小学校の教室の劣化が著しいとの意見があるが、他の各小学校の教室の状況はどうか。	教育長	
		② 特に、三股小北校舎の教室内ロッカーや床の劣化が激しく要望が挙がっているが、早急に修繕出来ないか。	教育長	
3 住民税滞納について		① 住民税の滞納が指摘されているが、本町において近年の住民税滞納の状況(件数、滞納額)はどうか。	町長	
		② 出国した外国人の住民税の滞納の状況(件数、滞納額、滞納率)はどうか。	町長	
		③ 出国前に住民税を納められない場合の納税管理人の選任についてはどうか。	町長	
		④ 徴収について外国人の滞納者への督促と回収の現況はどうか。	町長	
		⑤ 外国人住民の増加が見込まれる中、更に滞納を増やさないため、外国人を雇用する事業者への周知や指導の取り組みはされているか。	町長	

一 般 質 問

令和8年第3回(6月)三股町議会定例会

5

発言 順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の 相手
9	上西 雅子	1 町内の公共交通機関について	① コミュニティバス「くいまーる」の路線変更やオンデマンドバスの導入で、車を持たない、乗らない人たちの移動は少しずつ便利になっている。その事を踏まえ、今後の町民の移動支援の課題についてどう捉えているか、質問する。	町長
			② 町内の高齢者の多くが都城市などの病院に通院している実態がある。町として、町外医療機関への交通手段の課題をどのように認識しているのか、質問する。	町長
			③ 現在の民間のバス路線は、町民のニーズに合った経路ではないという声が聞かれる(特に都三道路近辺の住宅地周辺)。民間バス会社との協議を町として行う考えはあるか、質問する。	町長
			④ 医療アクセスは、市町村の枠を超える課題であると考え。独自の公共交通を持たない都城市との広域連携で、交通確保を検討する協議の場を設ける事はできないか、質問する。	町長
		2 三股中学校の女子制服について	① 三股中学校の女子制服は、夏・冬ともセーラー服を基本とした仕様となっている。近年の気候変動により、春先や秋口の寒暖差の拡大、夏季の高温多湿化が進む中、現在の制服が生徒の健康や快適性に十分対応できていないと考える。町としてどのように認識しているのか、質問する。	教育長
			② 保護者や卒業生から、気温差が大きい時期に調整がしにくいこと、夏季の湿度や高温に対して生地やデザインが適していないこと等の声が聞かれる。これらの意見を教育委員会としてどのように受け止め、課題として認識しているのか質問する。	教育長
③ 気候変動に対応し、生徒の健康と学習環境を守る観点から、①通年で着用可能な軽量素材の導入、②ポロシャツ等の選択肢の追加、③生徒・保護者の意見を反映するアンケートの実施、等、制服の見直しに向けた検討の場を設置できないか、質問する。	教育長			